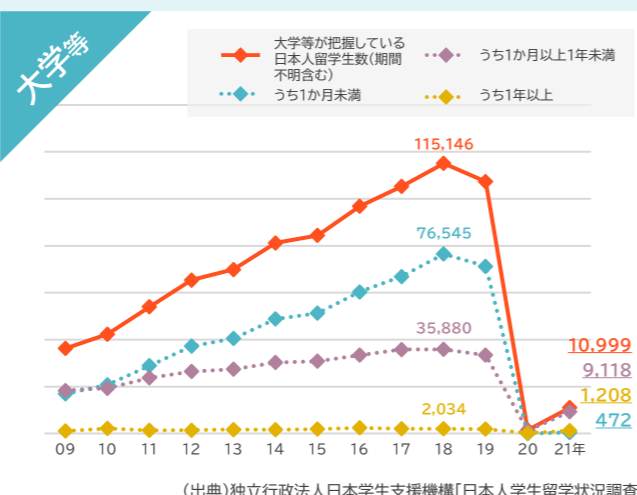
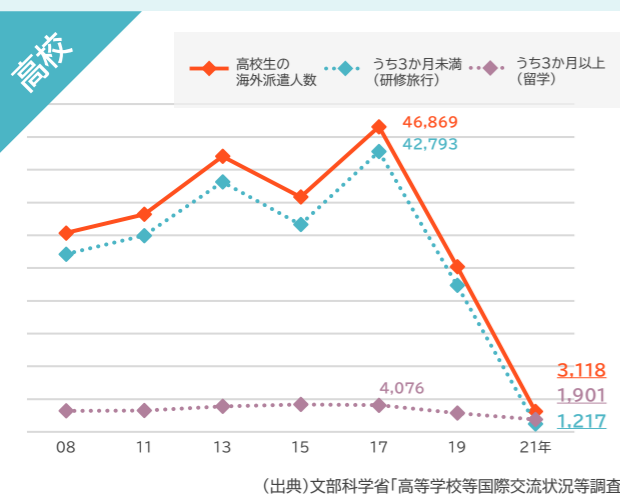


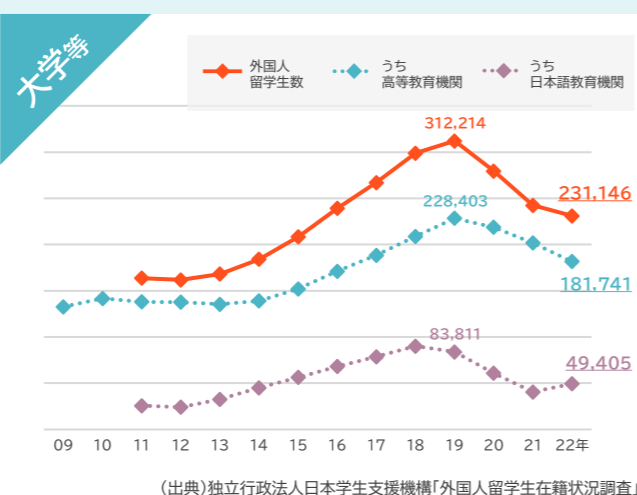
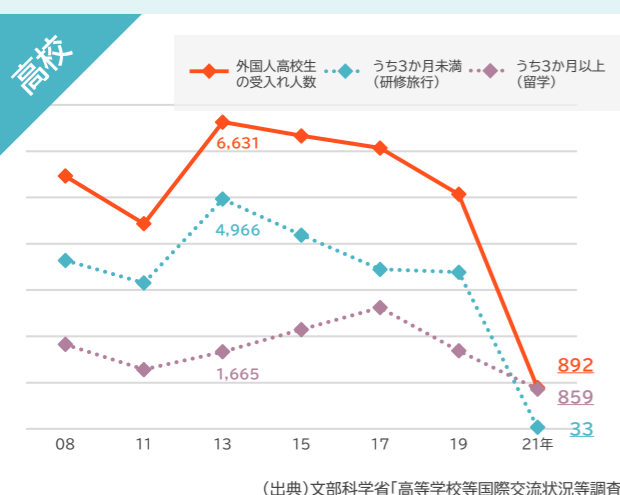
データで見る留学

International Exchange at a Glimpse

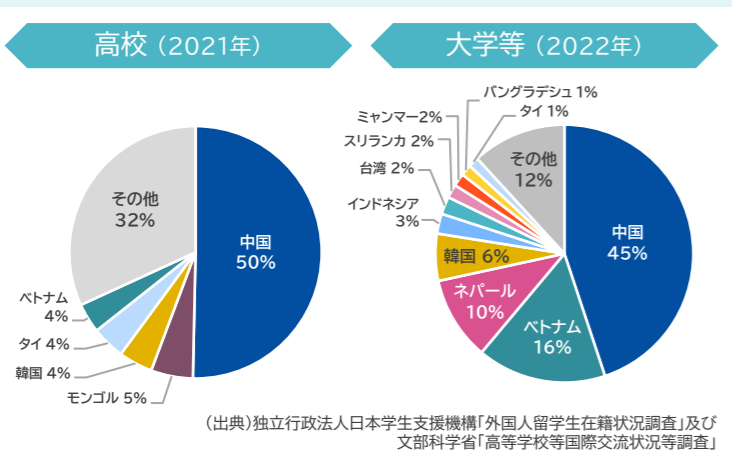
日本人の海外留学



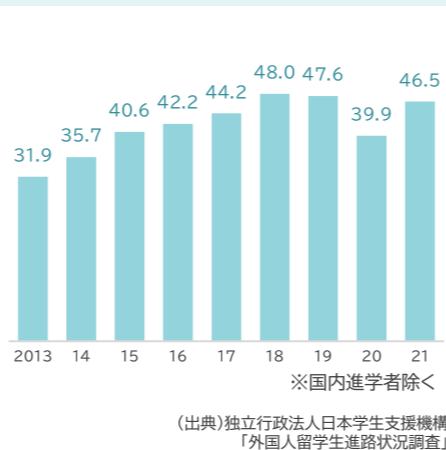
外国人留学生の受入れ



外国人留学生の国別割合



外国人留学生の就職率



せかい×まなびのプラン

「せかい」でまなぶ・「せかい」とまなぶ・「にほん」がかわる

留学・海外経験から日本を変える

世界経済に占める日本のGDPは今後低下し続けるとの予想がある。

IMDによる最新の世界競争力ランキングにおいて、日本は過去最低の35位を記録。

日本の国際共同研究数は少なく、国際頭脳循環の輪に入っていない。

日本のユニコーン企業は7社。アメリカ661社、中国173社、インド70社に大きく遅れる。

各種の英語資格・検定試験において、日本の平均スコアは諸外国の中で最下位クラス。

我が国の成長のためには、世界的な企業をつくる力、国際共同研究を行う力、外交等世界と対等に交渉する力などを有する**グローバルリーダーの育成が急務**であり、その核には、国際対応能力(グローバル・コンピテンシー)の育成があります。

そのため、より多くの日本人を留学に送り出すことにより、**アイデンティティを確立しながら、多様な価値観を持った他者との協働の中で新たな価値を見出し、イノベーションを創り出す経験が必要です。**

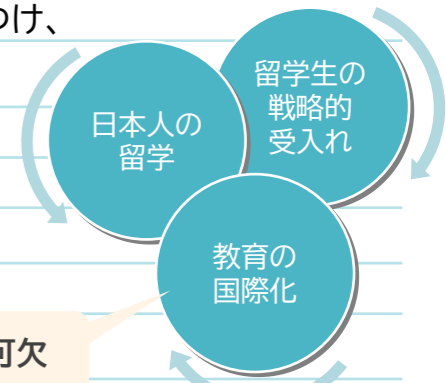
また、我が国の競争力向上のため、優秀な留学生・人材を惹きつけることも不可欠であり、そのためには、**大学の教育研究やそれを支えるキャンパスの質及び魅力の向上が重要**です。同時に、**外国人子弟が安心して学べる環境を提供する**など、**誰もが安心して暮らして学び、個々の能力を最大限発揮できる共生社会を構築**することも求められています。

さらに、研究分野では学生に留まらず国際頭脳循環を促進し、優秀な若者が世界で活躍するとともに、**優秀な人材を我が国に惹きつけ、国際的なネットワークを強化**する必要があります。

これを実行するため、**複数年度にわたる支援により、教育及び研究を軸とした国際交流を抜本的に改革し、我が国及び我が国の教育・研究の持続的な発展、成長へと繋げます。**

相互に作用し、循環する、グローバル・エコシステムの構築が不可欠

※本プランの実現に必要な経費について、令和6年度概算要求を予定しています。



3つのアクション

3 Actions

世界と対等に渡り合える人材や、世界に開かれた地域社会を牽引する日本人のグローバル人材を育成するとともに、高等教育の国際通用性・競争力向上や将来の高度外国人材獲得に向け、外国人留学生が安心して日本で学べる環境の整備を行います。

※「●」は予算事業(令和6年度概算要求を予定)、「□」は制度・非予算事業(今後検討)

1 日本からの留学・人材の交流

小中高 国際社会の一員としての意識形成

国際理解を深め、国際社会と向き合う我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養う

- ≫ 児童生徒の英語力向上のための取組を支援
- ≫ 「話すこと」等の発信力向上に向け、AI等デジタルを活用したパフォーマンステストの実施促進
- ≫ 教師の英語力・指導力向上のためのオンライン研修プログラムを実施
- ≫ 中学・高校段階におけるオンライン等を利用した国際交流活動の促進
 - 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業
 - 社会総がかりで行う高校生国際交流促進事業

特に高校 留学への意欲喚起・能力育成

左記に加え、より早期からの国際交流経験を通じて、留学への意識を形成

- ≫ 地域での海外経験・留学支援に係る体制づくりや留学コーディネーターの配置などの取組を促進
- ≫ 留学に関する情報発信や関心喚起に向けた取組などを推進し、留学への機運を醸成
- ≫ 生徒同士の人的交流を通して、留学への意欲喚起に寄与
- ≫ 海外との連携も見据えたアントレプレナーシップ教育を推進
 - 社会総がかりで行う高校生国際交流促進事業
 - トビタテ！留学JAPAN(高校生等コース)
 - さくらサイエンスプログラム ● EDGE-PRIME Initiative

大学等 質の高い本格的な留学・人材の交流

留学への機運を醸成した上で、本格的な留学への送り出し・頭脳循環への参画を推進 多様な他者と協働し、新たな価値を生み出す人材を育成

奨学金の充実

- ≫ 留学向け給付奨学金を拡充(中長期留学の重点的促進)
- ≫ 教育委員会と連携した学位取得留学の促進
- ≫ 貸与奨学金の活用と企業等の代理返還制度の利用促進
- ≫ STEM分野の高専生・大学院学生の留学支援の充実
 - 海外留学支援制度
 - フルブライト奨学金事業(米国大学院での学位取得)
 - 教師を志す学生の留学支援

国際頭脳循環

- ≫ 国際共同研究や研究者の派遣・受入れを通じて国際頭脳循環を促進
- ≫ イノベーション創出や国際会議の誘致など研究分野を国際化
 - 先端国際共同研究推進事業
 - 海外特別研究員事業

民間との連携

- ≫ 民間企業等からの寄付金により奨学金を支援
- ≫ 海外で活躍する日本人等と連携した支援
 - トビタテ！留学JAPAN(大学生等コース)
 - JASSO貸与奨学金の代理返還制度の活用

2 優秀な留学生や人材の受入れ・定着

小中高 共生社会の基盤構築

外国人子弟等、外国につながるの児童生徒が安心して学べる社会の基盤を形成

- ≫ 外国人の子供の就学促進、日本語指導が必要な児童生徒に対する指導・支援体制の充実により共修環境を実現
- ≫ 高度外国人材にとって魅力的な教育環境整備のモデルの創出等
 - 高度外国人材子弟の教育環境整備に係る調査研究事業【新規要求】
 - 高度外国人材子弟受入れ先及び好事例の収集・整理【新規要求】
 - 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業
 - 外国人の子供の就学促進事業

特に高校 優秀な留学生獲得の素地形成

左記に加え、より若い層へ日本をアピールすることにより、大学段階での日本留学や優秀な留学生の早期獲得へ繋げる

- ≫ ASEAN、G7などを中心に、より効果的な国際交流の仕組みを構築、留学生と日本人が共同生活を行う機会の創出等
- ≫ 英語で学ぶことができるなど、高度外国人材等の子弟の進学先となり得る国内大学の学科・コース等や留学生のキャリア形成に資する専門学校の情報を収集・発信
 - 社会総がかりで行う高校生国際交流促進事業
 - アジア高校生架け橋プロジェクト+
 - 高校入試での外国人特別枠の設定
 - さくらサイエンスプログラム

大学等 優秀な外国人留学生の本格的な受入れ・国際頭脳循環

より多くの優秀な留学生を受け入れ、日本と世界の成長や発展、高等教育の国際通用性・競争力の向上とともに、国際社会に開かれた日本社会を共に作る一員として留学生を受け入れるため、以下に一体的に取り組む

留学生誘致機能強化

- ≫ JASSOに留学生誘致のための情報収集・戦略立案を行う部署を設置
- ≫ 大学、JASSO、在外公館、国際交流基金との一体となった戦略的受入れを行う海外拠点の強化
 - JASSO運営費交付金
 - 日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業

G7やASEANとの連携

- ≫ G7やASEANとの大学間共同教育プログラム策定支援
- ≫ マレーシア海外分校開校、タイ高専を含めた交流支援
- ≫ 国費留学生の奨学金の重点的強化等
- ≫ 研究分野において、国際共同研究や研究者の受入れを通じた国際頭脳循環を促進
 - 大学の世界展開力強化事業
 - 国費留学生支援制度
 - 日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携【新規要求】
 - 先端国際共同研究推進事業
 - 外国人研究者招へい事業

奨学金の戦略的活用

- ≫ 多様で優秀な留学生を獲得するため、G7、ASEAN、インド等を中心に重点的拡充
 - 外国人留学生奨学金制度

就職・定着支援

- ≫ 日本語教育、キャリア教育、インターンシップを体系的に提供
- ≫ 地域・企業と大学が協働して国際化を図り、留学生が定着しやすい環境を実現
 - 留学生就職支援プログラム
 - 国際的な大学によるソーシャルインパクト創出支援事業【新規要求】
 - 外国人留学生キャリア形成促進プログラム(専門学校)

日本語教育 外国人が日本で学習するための基盤整備

- ≫ 外国人等に対する日本語教育の推進
 - 日本語教育機関の認定・日本語教員の登録制度の開始(留学・就労・生活)
 - 日本語教育に関する多言語情報発信サイトの公開

3 教育の国際化

小中高 多様なグローバル人材の学習環境整備

- ≫ 高度外国人材の子弟等の学習環境や国際交流活動の推進、高校段階におけるグローバル人材育成に資する拠点校の整備、海外で学ぶ日本の子供たちの学びの充実
 - インターナショナルスクールの資源活用【新規要求】
 - 国際バカロレアの推進
 - WWLコンソーシアム構築支援事業
 - 在外教育施設の機能強化

大学等 留学生交流が自然と発生する環境整備

大学の国際化

- ≫ 教育の海外展開による留学生誘致や、地域と共に国際化を図ることによる留学生が定着しやすい環境のソフト・ハード一体の整備
- ≫ 人文・社会科学系大学院の国際ネットワーク形成による海外との学位プログラム実施等を通じて、国際機関など世界で活躍する新たな高度人材養成モデルを構築
- ≫ 国際卓越研究大学を選定し、英語と日本語を共通言語として、海外トップ大学と日常的に連携している世界標準の教育研究環境を目指す。
- ≫ 大学における秋季入学や4学期制など学事暦・修業年限の多様化・柔軟化も推進

- 国際的な大学によるソーシャルインパクト創出支援事業【新規要求】
- 人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業
- 国際バカロレアを活用した大学入試の推進
- 留学生の授業料設定柔軟化や定員管理の弾力化

R6 概算要求 ポイント 重点施策の

1 世界と日本・地域を結び「大学」の国際拠点化の推進

大学内部に留まらない更なる国際化を推進するため、「国際的な大学によるソーシャルインパクト創出支援事業」を新たに展開

2 産官学を挙げた高校・大学段階の留学支援強化

- 日本人の中長期留学のための海外留学支援制度等を大幅拡大
- 貸与奨学金の代理返還制度の利用促進
- 高校生の国際経験のため、「社会総がかりで行う高校生国際交流促進事業」の拡充
- 「トビタテ！留学JAPAN」第2ステージの推進

3 G7、ASEAN等重点地域との戦略的連携強化

- 「大学の世界展開力強化事業」により、G7、ASEANとの共同教育プログラム作成を実施
- G7、ASEAN、インドからの留学生受入れのための奨学金を重点的に拡充
- 「アジア高校生架け橋プロジェクト+」の拡充
- G7、ASEAN等との持続的な成長に向けた科学技術・イノベーション連携の強化

4 国際頭脳循環の促進

先進国やASEAN等との国際共同研究やネットワーク構築への支援を通じ、若手研究者のネットワークを強化。

5 戦略的な国際展開のための情報収集・留学生誘致機能強化

- JASSOの諸外国の情報収集・分析機能の抜本的強化
- 大学、JASSO、在外公館、関係機関が一体となり重点地域での早期からの受入強化等を推進

6 在外教育施設の機能強化

将来の日本を支える「グローバル人材の原石」である在留邦人の子の学びの保障、国内同等の学びの環境整備、在外教育施設ならではの教育の充実を推進